



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 ペガサスミシン製造株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6262 URL <https://www.pegasus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 美馬 成望
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 佐藤 文泰 (TEL) 06(6451)1351
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,422	△17.0	516	3.5	681	40.8	707	—
2020年3月期	14,969	△20.8	499	△78.3	484	△81.0	△206	—
(注) 包括利益	2021年3月期		502百万円(—%)		2020年3月期		△622百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	28.50	—	3.3	2.3	4.2
2020年3月期	△8.31	—	△1.0	1.6	3.3
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期	—百万円	2020年3月期	—百万円	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	29,846	22,061	71.6	861.77
2020年3月期	29,719	21,737	70.9	849.24
(参考) 自己資本	2021年3月期	21,381百万円	2020年3月期	21,070百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,257	643	△145	8,313
2020年3月期	602	△1,627	576	5,648

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	13.00	—	7.00	20.00	496	—	2.3
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00	173	24.6	0.8
	—	7.00	—	7.00	14.00		62.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,300	78.1	610	—	580	686.7	370	—	14.91
通期	17,510	41.0	1,050	103.5	980	43.9	560	△20.8	22.57

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	24,828,600株	2020年3月期	24,828,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期	17,976株	2020年3月期	17,944株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	24,810,654株	2020年3月期	24,810,656株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,984	△21.6	△778	—	△349	—	△180	—
2020年3月期	6,359	△32.3	△21	—	164	△86.7	△98	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	△7.27		—					
2020年3月期	△3.95		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	19,910		13,673		68.7	551.12		
2020年3月期	20,006		14,037		70.2	565.78		

(参考) 自己資本 2021年3月期 13,673百万円 2020年3月期 14,037百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2021年5月27日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。なお、当日使用する決算説明資料につきましては、2021年5月25日（火）に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済活動の制限等の影響で著しく悪化しました。一方で、中国においては生産活動がいち早く再開され、設備投資は持ち直しの動きが見られます。しかしながら、全世界的に変異株による感染症の再拡大が見られ、経済を下振れさせるリスクが高まるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、世界各地で当社顧客であるアパレル縫製企業が生産縮小や工場の稼働停止を余儀なくされましたが、2020年半ば以降、中国およびその他アジア地域を中心に生産活動の回復が見られました。また、ダイカスト事業におきましても、自動車の需要が回復してきたことにより、自動車産業の生産回復は予想を上回って推移しました。

このような環境のもと、当連結会計年度の売上高は124億22百万円（前年同期比17.0%減）となりました。利益面につきましてはダイカスト事業の利益率が改善したことで、営業利益は5億16百万円（前年同期比3.5%増）、経常利益は6億81百万円（前年同期比40.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失2億6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(工業用ミシン)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着きを見せ始めた中国が先行して事業活動を再開し、続いて東南アジアおよび欧米各国でも、経済活動の回復に向けた対応が進められたことにより、弱いながらも設備投資需要の回復が見られるようになりましたが、コロナ禍以前の設備投資水準までの回復には至らず、売上高は96億22百万円（前年同期比21.5%減）、セグメント利益は13億99百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

(ダイカスト部品)

自動車生産は回復基調にあり、販路拡大に向けた販売活動を継続して行った結果、売上高は27億99百万円（前年同期比3.5%増）、コスト削減などによりセグメント利益は1億33百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、212億57百万円となりました。これは、主として現金及び預金が26億60百万円増加し、商品及び製品が7億37百万円、原材料及び貯蔵品が3億4百万円、受取手形及び売掛金が2億36百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12.5%減少し、85億88百万円となりました。これは、主として有形固定資産が12億88百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、298億46百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.4%減少し、45億16百万円となりました。これは、主として流動負債其他が1億51百万円、支払手形及び買掛金が1億27百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、32億67百万円となりました。これは、主として長期借入金が2億49百万円増加し、長期リース債務が1億9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、77億84百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%増加し、220億61百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する当期純利益が7億7百万円となり、為替換算調整勘定が3億65百万円減少したことなどによります。

自己資本比率は前連結会計年度末の70.9%から71.6%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ26億65百万円増加し、当連結会計年度末には83億13百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、22億57百万円(前連結会計年度比274.4%増)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益8億38百万円、減価償却費7億60百万円、たな卸資産の減少額7億10百万円に対し、未払金の減少1億41百万円などによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、6億43百万円(前連結会計年度は16億27百万円の支出)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出4億56百万円に対し、有形固定資産の売却による収入10億61百万円などによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、1億45百万円(前連結会計年度は5億76百万円の収入)となりました。これは主として長期借入による収入額8億47百万円に対し、長期借入金の返済による支出額6億60百万円、配当金の支払額1億73百万円などによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	72.3	76.6	74.8	70.9	71.6
時価ベースの自己資本比率	77.0	65.7	50.2	29.5	38.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	177.4	100.4	178.5	820.4	225.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ	34.1	40.2	32.4	8.7	34.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値より算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

当社企業グループの主な販売先であるアパレル市場の需要は、翌連結会計年度内にある程度正常化するものと見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、ワクチンの接種が進んでいる先進国から途上国に移りつつあり、世界経済は引き続き不確定要素を抱えております。

当社企業グループでは、引き続き事業の継続及び従業員の安全を最優先事項とし、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じるとともに、市場の変化に対応すべく、「持続可能な事業構造の構築」、「収益の改善」を重点課題として、各種施策に取り組んでまいります。また、様々なデジタルツールを活用した非対面での営業活動や、IoTなどデジタル化に対応した製品の早期実現に向けた取り組み、新製品開発、生産と在庫の適正化に向けたサプライチェーンの再構築、人材育成等の強化に加え、ダイカスト事業では受注拡大に備えた設備投資の計画を進めるなど、将来へ向けた施策にも注力してまいります。

以上の取り組みを踏まえ、2022年3月期の連結業績見通しは、連結売上高175億10百万円、営業利益10億50百万円、経常利益9億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益5億60百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

※上記見通しは、次のレートを前提としております。（米ドル：105円）

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、将来における I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,998,703	8,659,115
受取手形及び売掛金	3,856,634	3,619,713
有価証券	42,145	—
商品及び製品	5,180,204	4,442,859
仕掛品	658,289	738,116
原材料及び貯蔵品	3,757,987	3,453,410
未収入金	109,275	93,215
その他	333,777	264,453
貸倒引当金	△35,142	△13,082
流動資産合計	19,901,874	21,257,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,292,098	7,561,977
減価償却累計額	△3,210,900	△2,886,583
建物及び構築物 (純額)	5,081,197	4,675,393
機械装置及び運搬具	6,665,724	6,792,053
減価償却累計額	△4,680,800	△4,786,275
機械装置及び運搬具 (純額)	1,984,924	2,005,778
工具、器具及び備品	907,781	867,536
減価償却累計額	△732,539	△725,028
工具、器具及び備品 (純額)	175,242	142,508
土地	918,344	111,536
リース資産	173,158	173,158
減価償却累計額	△38,312	△59,538
リース資産 (純額)	134,845	113,620
使用権資産	516,632	479,998
減価償却累計額	△66,519	△128,333
使用権資産 (純額)	450,113	351,664
建設仮勘定	162,488	218,376
有形固定資産合計	8,907,156	7,618,878
無形固定資産	537,213	505,654
投資その他の資産		
投資有価証券	136,203	144,280
退職給付に係る資産	—	149,517
繰延税金資産	114,724	64,037
その他	122,678	105,917
投資その他の資産合計	373,606	463,753
固定資産合計	9,817,976	8,588,285
資産合計	29,719,850	29,846,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,243,110	1,115,489
短期借入金	2,118,425	2,103,670
1年内返済予定の長期借入金	460,336	412,036
リース債務	98,736	91,027
未払法人税等	45,535	52,829
賞与引当金	92,434	127,129
その他	765,403	614,307
流動負債合計	4,823,982	4,516,490
固定負債		
長期借入金	1,639,361	1,888,745
リース債務	502,584	393,265
長期預り保証金	117,000	117,000
退職給付に係る負債	567,518	528,847
繰延税金負債	273,946	251,749
その他	57,816	88,046
固定負債合計	3,158,226	3,267,654
負債合計	7,982,208	7,784,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,255,553	2,255,553
資本剰余金	2,983,084	2,983,084
利益剰余金	15,170,265	15,703,763
自己株式	△5,350	△5,365
株主資本合計	20,403,553	20,937,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,867	12,512
為替換算調整勘定	732,104	367,086
退職給付に係る調整累計額	△87,273	64,390
その他の包括利益累計額合計	666,698	443,989
非支配株主持分	667,390	680,917
純資産合計	21,737,641	22,061,942
負債純資産合計	29,719,850	29,846,087

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	14,969,269	12,422,454
売上原価	9,792,276	7,949,162
売上総利益	5,176,993	4,473,291
販売費及び一般管理費	4,677,413	3,956,345
営業利益	499,580	516,945
営業外収益		
受取利息	16,226	9,670
受取配当金	5,336	2,678
助成金収入	64,764	249,939
その他	22,696	15,848
営業外収益合計	109,022	278,137
営業外費用		
支払利息	69,689	70,815
為替差損	45,441	28,373
その他	9,252	13,932
営業外費用合計	124,383	113,120
経常利益	484,219	681,962
特別利益		
固定資産売却益	2,326	437,311
投資有価証券償還益	—	22,090
保険戻戻金	13,670	—
特別利益合計	15,996	459,401
特別損失		
固定資産売却損	1,054	303,327
投資有価証券評価損	25,563	—
特別損失合計	26,618	303,327
税金等調整前当期純利益	473,597	838,036
法人税、住民税及び事業税	180,576	116,712
法人税等調整額	460,970	△15,265
法人税等合計	641,546	101,447
当期純利益又は当期純損失(△)	△167,949	736,588
非支配株主に帰属する当期純利益	38,276	29,416
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△206,225	707,171

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△167,949	736,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,399	△9,354
為替換算調整勘定	△375,027	△376,225
退職給付に係る調整額	△90,951	151,663
その他の包括利益合計	△454,580	△233,916
包括利益	△622,529	502,672
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△644,707	484,462
非支配株主に係る包括利益	22,178	18,209

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	15,996,758	△5,350	21,230,045
当期変動額					
剰余金の配当			△620,266		△620,266
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△206,225		△206,225
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△826,492	—	△826,492
当期末残高	2,255,553	2,983,084	15,170,265	△5,350	20,403,553

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	10,467	1,091,033	3,678	1,105,179	654,146	22,989,371
当期変動額						
剰余金の配当						△620,266
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△206,225
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,399	△358,929	△90,951	△438,481	13,244	△425,237
当期変動額合計	11,399	△358,929	△90,951	△438,481	13,244	△1,251,729
当期末残高	21,867	732,104	△87,273	666,698	667,390	21,737,641

当連結会計年度(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,255,553	2,983,084	15,170,265	△5,350	20,403,553
当期変動額					
剰余金の配当			△173,674		△173,674
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			707,171		707,171
自己株式の取得				△14	△14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	533,497	△14	533,483
当期末残高	2,255,553	2,983,084	15,703,763	△5,365	20,937,036

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	21,867	732,104	△87,273	666,698	667,390	21,737,641
当期変動額						
剰余金の配当						△173,674
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						707,171
自己株式の取得						△14
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△9,354	△365,018	151,663	△222,709	13,526	△209,182
当期変動額合計	△9,354	△365,018	151,663	△222,709	13,526	324,300
当期末残高	12,512	367,086	64,390	443,989	680,917	22,061,942

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	473,597	838,036
減価償却費	764,873	760,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△911	△21,347
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△90,536	159,607
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	45,816	△149,517
受取利息及び受取配当金	△21,562	△12,349
助成金収入	△64,764	△249,939
支払利息	69,689	70,815
為替差損益 (△は益)	△9,999	76,342
固定資産売却損益 (△は益)	△1,271	△133,984
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△22,090
保険返戻金	△13,670	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,563	—
売上債権の増減額 (△は増加)	760,836	131,260
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△247,410	710,633
仕入債務の増減額 (△は減少)	△310,019	25,124
未払金の増減額 (△は減少)	86,527	△141,680
その他	△118,043	86,641
小計	1,348,714	2,128,393
利息及び配当金の受取額	21,804	11,754
利息の支払額	△69,630	△65,012
助成金の受取額	64,764	230,865
保険金の受取額	—	47,747
法人税等の支払額	△762,846	△96,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	602,806	2,257,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△460,055	△540,791
定期預金の払戻による収入	402,557	536,923
有形固定資産の取得による支出	△1,560,660	△456,415
有形固定資産の売却による収入	12,273	1,061,209
無形固定資産の取得による支出	△22,579	△10,714
投資有価証券の償還による収入	—	42,965
その他	949	10,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,627,515	643,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,095,600	△50,000
長期借入れによる収入	655,000	847,000
長期借入金の返済による支出	△342,123	△660,336
社債の償還による支出	△106,430	—
配当金の支払額	△620,266	△173,674
非支配株主への配当金の支払額	△8,934	△4,683
リース債務の返済による支出	△88,972	△96,374
その他	△6,978	△7,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	576,895	△145,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105,942	△88,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△553,755	2,665,555
現金及び現金同等物の期首残高	6,202,114	5,648,359
現金及び現金同等物の期末残高	5,648,359	8,313,915

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社企業グループの報告セグメントは、当社企業グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社企業グループは、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて全世界を対象とした包括的な戦略を立案し、事業展開しております。

従って、当社企業グループは製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「工業用ミシン」及び「ダイカスト部品」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「工業用ミシン」は、主にニット衣料等の縫製に使用される環縫いミシンの製造販売をしております。「ダイカスト部品」は、自動車用安全ベルト関連部品をはじめとするダイカスト部品の製造販売をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業のセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,263,399	2,705,870	14,969,269	—	14,969,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,263,399	2,705,870	14,969,269	—	14,969,269
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	1,623,332	△1,092	1,622,239	△1,122,659	499,580
セグメント資産	20,411,781	5,525,814	25,937,596	3,782,254	29,719,850
その他の項目					
減価償却費	388,121	329,716	717,838	47,035	764,873
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	899,521	337,390	1,236,911	346,328	1,583,240

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産3,782,254千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額(注)2
	工業用ミシン	ダイカスト部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,622,848	2,799,605	12,422,454	—	12,422,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,622,848	2,799,605	12,422,454	—	12,422,454
セグメント利益	1,399,161	133,515	1,532,676	△1,015,731	516,945
セグメント資産	19,160,592	5,903,126	25,063,719	4,782,368	29,846,087
その他の項目					
減価償却費	405,287	305,027	710,314	50,525	760,840
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	112,419	353,981	466,400	728	467,129

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産 4,782,368千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
 - (3) その他の項目の減価償却費調整額は、全社資産の償却額及びセグメント間消去であります。また有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	849円24銭	1株当たり純資産額	861円77銭
1株当たり当期純損失(△)	△8円31銭	1株当たり当期純利益	28円50銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△206,225	707,171
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△206,225	707,171
期中平均株式数(株)	24,810,656	24,810,654

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	21,737,641	22,061,942
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	667,390	680,917
(うち非支配株主持分)(千円)	(667,390)	(680,917)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	21,070,251	21,381,025
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	24,810,656	24,810,624

(重要な後発事象)

該当事項はありません。